

第4学年梅組 体育科学習指導案

指導者 体育専科

- 1 日 時 令和7年10月17日(金) 5校時(13:35~14:20)
- 2 場 所 体育館
- 3 単 元 名 Let's go! われら4梅探検隊(表現運動領域 表現)
- 4 授業づくりに関する考え方

(1) 教材の特性と児童の実態

教材の特性	<p>表現は、自己の心身を解き放して、イメージの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動である。</p> <p>今回扱う「〇〇探検」は、空想の世界からの題材として、その特徴的な場面や動きを即興的に表現することで、動きに差を付けて誇張したり、対応・対立する動きで変化を付けたりして踊ることができる教材である。感じの異なる動きや急変する場面などをひと流れの動きにする活動を繰り返し行うことで、よりイメージの世界に没入して即興的に表現する能力を高めることができる。</p> <p>また、友達と互いの動きを見合ったり、表現の仕方や動き方の工夫を考えたりすることで、友達の良い動きを見付けたり、課題解決のために考えたことを伝え合ったりすることができる。</p> <p>さらに、ペアやグループでの活動を多く取り入れることで、仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わったり、互いの考えや動きの良さを認め合ったりすることができる教材である。</p>	児童の実態	<p>○ 本学級の児童(男子17人、女子17人)は体を動かすことを好む児童が多く、体育科の授業においても、進んで運動に取り組むことができる。事前アンケートでは、73%の児童が「体育の授業や運動をすることがとても好き。」と答えた。児童が運動会の表現では、リズムに乗って体を大きく動かし、表情良く踊ることができた。しかし、技能差が見られ、体全体を使って表現することが苦手な児童もいる。(知識・技能)</p> <p>○ 昨年度の体育科のマット運動の授業では、互いに技のできばえを見合ったり、こつを伝え合ったりするなど、友達と関わり合いながら課題解決をすることができた。しかし、何を伝えれば良いか、どう伝えれば友達に分かりやすく伝わるかなど、話合いの仕方や伝え方に課題が見られる。(思考・判断・表現)</p> <p>○ 事前アンケートを実施したところ、表現が好きと答えた児童は6割程度で、他の領域と比べるとやや少なかった。また、楽しいと感じているが、友達に見られることに対する恥ずかしさを感じている児童もいる。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
-------	--	-------	--

(3) 単元計画

ア 研究の視点及び手立て

<p>視点1：題材の特徴を捉え、表現を豊かにするための手立て</p> <p>① 「〇〇探検」の特徴をイメージカルタで示したり、全体で共有したりすることで、表したい感じをつかめるようにする。</p> <p>② テーマを変えながら活動を繰り返し、それぞれのテーマの特徴に合った動きを考えることで、表現がより豊かになるようにする。</p>	<p>視点2：主体的・対話的で深い学び</p> <p>① ペアやグループで活動する時間を設定することで、児童が教え合ったり、一緒に踊ったりしながら課題解決を目指すことができるようにする。</p> <p>② 互いの動きを見合う視点を明確にすることで、動き方の工夫や友達の表現の良さや課題を見付けることができるようにする。</p>
---	--

(2) 単元構想

ア 単元目標

- 表現の行い方を知るとともに、題材「〇〇探検」の主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができるようにする。(知識及び技能)
- 自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- 表現に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

イ 本単元で身に付けさせたい力の系統表

学年 観点	低学年 〈表現遊び〉	中学年 〈表現〉	高学年 〈表現〉
知識・技能	○ 表現遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。	○ 表現の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、身近な生活などの題材から主な特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。	○ 表現の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともにいろいろな題材の主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。
思考・判断・表現	○ 身近な題材の特徴を捉えて踊るなど簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。	○ 自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。	○ 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や題材の特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる。	○ 運動に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができる。	○ 運動に積極的に取り組み、互いの良さを認め合い、助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができる。

ウ 本単元を通して育てたい児童像(ゴールイメージ)及び教師の願い

仲間と共に考え、表現し、夢中になって表現運動を楽しむ児童の育成
 いろいろなテーマでペアやグループで表現する活動を繰り返すことで、運動が得意な児童も苦手な児童も、表現することや共に活動することの楽しさを実感させたい。

ウ 単元における指導と評価の計画

時	1	2	3	4	5(本時)	6	
学習の流れ	「〇〇探検」は、どのような運動なのだろう。 ○ オリエンテーションを行う。 ○ 準備運動(心と体をほぐす運動)をする。 ○ 「〇〇探検」と聞いて想像するイメージを共有する。【視点1-①】 ○ 「〇〇探検」のいくつかの様子をみんなで即興的に表現する。【視点2-①】	ジャングル探検の様子を伝えるにはどのように表現すればよいだろう。 ○ 準備運動(心と体をほぐす運動)をする。 ○ 「ジャングル探検」の特徴やイメージを共有し、表したい感じをつかむ。【視点1-①】 ○ 「ジャングル探検」のイメージカルタを使って、ペアで即興的に表現する。(クイズ形式)【視点2-①】	宇宙探検の様子を伝えるにはどのように表現すればよいだろう。 ○ 準備運動(心と体をほぐす運動)をする。 ○ 「宇宙探検」の特徴やイメージを共有し、表したい感じをつかむ。【視点1-①】 ○ 「宇宙探検」のイメージカルタを使って、ペアで即興的に表現する。【視点1-②】 ○ 動き方の工夫をペアやグループで話し合う。【視点2-①】	海底探検の様子を伝えるにはどのように表現すればよいだろう。 ○ 準備運動(心と体をほぐす運動)をする。 ○ 「海底探検」の特徴やイメージを共有し、表したい感じをつかむ。【視点1-①】 ○ 「海底探検」のイメージカルタを使って、ペアでひと流れの動きにして表現する。【視点1-②】 ○ 動き方の工夫をグループや全体で共有し合う。【視点2-②】	海底探検の表したい感じを伝えるためにはどのような工夫ができるだろう。 ○ 準備運動(心と体をほぐす運動)をする。 ○ BGMから想像する「海底探検」の様子を共有し、イメージを膨らませたり、表したい感じを考えたりする。【視点1-①】 ○ 「海底探検」をペアでひと流れの動きにして表現する。【視点1-②】 ○ どのような動きから友達が表したい感じが伝わったか話し合う。【視点2-②】	自分や友達の表現の仕方は、どのように変わったのだろう。 ○ 準備運動(心と体をほぐす運動)をする。 ○ ペアで「〇〇探検」のテーマを決め、表したい感じを考える。【視点2-①】 ○ 「〇〇探検発表会」をする。【視点1-②】 ○ 自分や友達の表現の良いところを紹介し合う。【視点2-②】	
主な評価	知・技	ア(様態、ワークシート)	イ(様態)	ア(様態、ワークシート)	ウ(様態、ICT機器)	イ(様態、ワークシート)	総括的な評価
	思・判・表						
	態度	ア(様態)	イ、エ(様態)			ウ(様態、ワークシート)	

イ 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 表現の行い方について、言ったり書いたりしている。 イ 題材の特徴を捉えて、考えたイメージを、メリハリ(緩急・強弱)をつけて表現することができる。 ウ 表したい感じを、ひと流れの動きにして即興的に表現することができる。	ア 自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫したり選んだりしている。 イ 特徴を捉えた動きや変化のある動きなど良かったところを友達に伝えている。	ア 進んで取り組もうとしている。 イ 誰とでも仲良く踊ろうとしている。 ウ 友達の動きや考えを認めようとしている。 エ 場の安全に気を付けて運動している。

5 本時の指導（5/6）

(1) 目標

- 特徴を捉えた動きや変化のある動きなど良かったところを友達に伝えることができるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- 友達の動きや考えを認めることができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等)

(2) 準備物

- 教師 イメージカルタ、タブレット端末、スピーカー、大型テレビ、ホワイトボード、掲示物、ワークシート、ピンマイク
- 児童 タブレット端末、わたしたちの体育、筆記用具

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点 ■ 苦手な児童・意欲的でない児童への支援・配慮 ◎ 評価規準（方法）【観点】
1 準備運動（心と体をほぐす運動）をする。 (1) 体じゃんけん (2) 前時の海底探検の表現	8	<input type="checkbox"/> 心や体をほぐす運動を行うことで、活動に前向きに取り組むことができる雰囲気づくりをする。 <input checked="" type="checkbox"/> 意欲的に取り組めない児童には積極的に声を掛けて一緒に動くことで、安心して取り組めるようにする。 <input type="checkbox"/> 前時に使ったイメージカルタを用いて海底探検を表現することで、本時の活動につなげる。
2 学習課題を確認する。	2	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 海底探検の表したい感じを伝えるためにはどのような工夫ができるだろう。 </div>		
3 どのような海底探検の様子が想像できるか話し合う。 (1) 教師と一緒に表現する。 (2) ペアで表したい感じを相談する。	10	<input type="checkbox"/> BGMから想像する海底探検の様子を教師と共に動いて表現することで、イメージが膨らむようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 明るさや温度、雰囲気など海底の様子（質感）にも触れることで、表現の工夫につながるようにする。 <input type="checkbox"/> ペアで表したい感じを相談し、ワークシートに短い文で記入する。 <input checked="" type="checkbox"/> 想像することが苦手な児童には、海底探検のイメージカルタを基に考えられるようにする。 ◎ 友達の動きや考えを認めることができる。 (様態、ワークシート)【態】
4 海底探検を表現する。 (1) グループ内で海底探検を表現し合う。 (ペアグループ) (2) どのような感じが伝わったかを話し合う。 (ペアグループ) (3) 意見交換を基にもう一度表現する。 (ペア)	20	<input type="checkbox"/> 表現している様子をタブレット端末で撮影し、話合いで活用できるようにしておく。 <input checked="" type="checkbox"/> 表現することが苦手な児童には、友達の動きを見て真似をしても良いことを伝える。 <input type="checkbox"/> どのような動きから友達が表したい感じが伝わったか、具体的に話し合えるようにする。必要に応じて撮影動画を用いる。 <input type="checkbox"/> 「4つの動き方の工夫」を用いることで、工夫していた動きやアドバイスなどを伝える視点になるようにする。 ◎ 特徴を捉えた動きや変化のある動きなど良かったところを友達に伝えている。 (様態、ワークシート)【思・判・表】 <input type="checkbox"/> 話合いで出た意見を取り入れて表現するように意識させ、自分たちの表現の良さや変化を実感できるようにする。
5 活動を振り返る。	5	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 表したい感じに合わせて、ゆったりした動きや急な動きなどを工夫することで、いろいろな海底探検を表現することができる。 </div>		
		<input type="checkbox"/> 本時の児童の表現や頑張っていた様子を称揚する。 <input type="checkbox"/> 次時に発表会をすることを伝え、ペアでさらにイメージを膨らませ、表現を工夫することができるように意欲付けをする。

(4) 本時の研究の視点

- ① BGMを用いて表現することは、海底探検の様子（質感）を想像したり、表したい感じを考えたりすることと効果的だったか。
【視点1：題材の特徴を捉え、表現を豊かにするための手立て】
- ② ワークシートを用いて友達の表したい様子や動き方の工夫に目を向けさせることは、友達の表現の良さを進んで伝え合うことにつながったか。
【視点2：主体的・対話的で深い学び】

(5) 心と体をほぐす運動の内容

○ ゆったりとした曲に合わせて、体をほぐす
上や横へ腕を伸ばす、上体を倒す・反らす、首や手首・足首を回す、くねくねと寝転ぶ・起き上がる など

○ 軽快なリズムの曲に合わせて、二人組で手をつないで踊る
・スキップなどで弾む
・スキップなどで回る

その場でスキップで弾む。スキップで前後に移動する。
サイドステップなどで弾みながら横に移動する。
片手をつないで、スキップで回る。
両手をつないでその場で回る。

(スポーツ庁「小学校体育（運動領域）指導の手引 ～楽しく身に付く体育の授業～」より)

- 身近なもの（新聞紙や風船、氷など）や動物になりきって踊る。
- 全身を大きく使って体じゃんけんをする。

(6) 4つの動き方の工夫

空間の工夫

人のいない方向へい動したり、集まったりしよう。

- ・広がって
- ・集まって

体の動かし方の工夫

おへそをいろいろな方向に向ける動きをしよう。

- ・回って
- ・ねじって
- ・とんで

リズムの工夫

リズムの速さを変えておどってみよう。

- ・すばやく
- ・ゆっくりと
- ・急にとめて

友達との動きの工夫

友達とちがった動きをしてみよう。

- ・はなれて
- ・くっついて
- ・くぐりぬけて

(わたしたちの体育 4「表げん運動 たんけんに行こう」より)

(7) 本時に使用するBGM

- 「表現運動CD I～V（監修・編集／中・四国小学校体育連盟）」より『II-13 海底探検』を編集して使用している。



(8) イメージカルタについて (単元で使用したものの一部)

○ ジャングル探検



(スポーツ庁「小学校体育(運動領域)指導の手引 ~楽しく身に付く体育の授業~」より)

○ 宇宙探検 (生成AIで作成)



○ 海底探検 (生成AIで作成)



(9) 本時のワークシート

Let's go! われら4梅探検隊

() 番 名前 ()



海底探検の表したい感じを伝えるためにはどのような工夫ができるだろう。



○ ペアで表したい海底探検の様子を話し合おう。(短い文で)

○ 自分たちのペアの海底探検の表現をふりかえろう。

どのような動きや工夫で表すことができたか。	大きさに	
	空間	
	リズム	
	体の動かし方	
	友達との動き	

○ 友達の動きから、どのような海底探検の様子が伝わったかな。(友達の名前:)

伝わった海底探検の様子	友達のどのような動きから	大きさに	
		空間	
		リズム	
		体の動かし方	
		友達との動き	